

10月は「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間」です！

がん検診 愛する家族への 贈り物



がんは、日本において昭和56年から死因の第1位であり、今や2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんによって亡くなっています。
がんによって亡くなる方を減らすためには、がん検診を受け、がんを早期に発見し早期に治療することが大切です。

国では毎年10月を「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」と定め、この期間は国民の皆さんにがん検診への関心を深めていただくとともに、官民一体となったがん対策への取り組みの意識を高めることとされています。
和歌山県においては、平成30年度からの「第3次和歌山県がん対策推進計画」において、検診受診率の目標を70%と掲げ、受診率向上に取り組んでいます。

「あなたを必要とする人のためにもがん検診を受診しに行きませんか？」

40歳から肺・大腸がんを、50歳から胃がん検診を受診しましょう！
女性は、肺・大腸・胃がんに加えて、20歳から子宮頸がん検診を、
40歳から乳がん検診を受診しましょう！



がん検診は、職場や市町村で受診することができます。
詳しくは、お勤め先もしくはお住まいの市町村へお問い合わせください。

●月間についての詳細は…

厚生労働省 平成30年度がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン

検索

●わかやまがんネットで、各市町村のがん検診担当窓口を紹介しています

わかやまがんネット

検索

わかやまがんねっと 一般の方へ 二次予防（がん検診）